

第69回 山新3P賞

受賞者のプロフィール

(1面に受賞理由)

第69回山新3P賞(提唱・山形新聞・山形放送)は、1個人2団体に贈られる。地域の平和(ピース)繁栄(プロスペリティ)進歩(プログレス)に貢献した各受賞者を紹介する。

進歩賞 Progress

山形銀行 女子バスケットボール部 「ライヤーズ」



第79回国民スポーツ大会バスケットボール成年女子の決勝で戦う山形銀行の選手。昨年10月、滋賀県野洲市

10年ぶり国スポ頂点

第79回国民スポーツ大会バスケットボール成年女子が、10年ぶりの頂点に立った。行員として勤務する傍らトレーニングを積んだ選手たちが、チームが掲げる最大目標を成し遂げた。

「SPR」で全国の強豪とのしを削っている。国スポ(国民体育大会)は4年度の優勝を誇る。大阪府選抜と戦った第79回大会決勝は最終盤まで戦り合った。試合時間残り1分を切った時点で、8度のリーグ優勝、8

08年度をはじめ、3度、全日本実業団競技大会、全日本社会人選手権、高松宮部「ライヤーズ」は本拠地記念杯全日本実業団選手権大会で社会人の主要大会3冠に輝いた。24年からは社会人トップリーグ「SPR」に挑戦する。このない製作「リ」を掲げ、脱脂可能な製法で、脂質を減らす。玄米油の栄養素を手軽に摂取できる米ぬかパウダー「ハブレット」の普及を図る。山口社長は地域の未来を見据える。

繁栄賞 Prosperity

米油の製造を通じ、地域の健康づくりや循環型社会への貢献を目指す三和油脂の山口與左衛門社長 三和油脂(天童市)



三和油脂(天童市)

米油製造 農業推進も

三和油脂(天童市)は北海道・東北で唯一、米油の製造を手がける。国産米ぬかを原料に高品質な米油作りを追求し、地域の健康を支える。製造工程で生じる副産物に新たな価値を見出し、食品やセメックスなどの製品開発につなげている。2025年3月脱脂米ぬかを有機肥料を用いた堆肥バレット製造場を整備し、持続可能な農業(グリーン農業)の推進に

志向の高まりを背景に、家庭用市場開拓に成功した。独自の圧搾製法で特許を取得するなど、オンリーワンを目指す。米ぬかのうち、米油の原料は約1割。捨てると

「インベション」を生み出すため、挑戦を続けた。山口社長は地域の未来を見据える。

平和賞 Peace

作家 柚月裕子さん

小説執筆への思いを語る柚月裕子さん(山形市)



人の尊さ書き続ける

「不条理にあらがう、もがく人の姿が『尊い』。デビューから『一頁』そんな人々の姿を書き続けてきた。骨太の作品で読者を引き付け、直木賞に3度ノミネートされるなど人気作家としての地位を築く。本県在住の作家柚月裕子さん(57)は人間の強さ、弱さをひくくめたる心理描写に心を砕き、人の営みの尊さを小説で活写している。

「北へ向かう」で3度、候補となっていた。投稿した山新文学賞で入選、文芸年間賞を受賞。これを後押しに挑戦した「迷子」への思いは強い。「あの日に時間を戻すくらい作業」を

繰り返す。10年以上をかけて執筆。「作家生活を続けるには、作品を自負する。時間を要した分、受け止めるも変化した。」「泣いているのは私だけじゃない。誰も苦しさを抱えて前に進んでいる。」「この震災に限らず、災難に直面する人々を俯瞰して捉えた書物を持つ作品となった。